

## 教えて!みほ先生!!



子供は自分の意思で手を伸ばしたり体を移動させたりして、環境に働きかけることで感性を養い、感情を豊かにしていきます。そうやって、子供の世界は徐々に広がっていくのです。そのためには、子供が安心感を感じる場であることが重要です。移動している子供が振り返って大人を見た時、大人が笑顔で頷けば、子供は安心して進んでいくでしょう。子供の世界を広げるのは、こうし

た、大人に見守られていると実感できる安心感なのです。「まてまて」と追いかける「まてまて遊び」などの遊びを取り入れながら、子供の世界を広げてあげてください。

本岡 美保子先生  
比治山大学現代文化学部子ども発達  
教育学科 准教授 / 研究分野は、乳児  
保育、保育実践、子育て支援 / 乳児  
保育、保育実践等に関する研究多数



### おしえて!先輩パパ・ママ

#### これってうちだけ!?はいはい変化球



##### 片手片足だけでずり這い

右手右足だけを使ってずり這いをし、はいはいしないまま一人歩きをするようになりました。当時は心配でしたが、両足で立って、しっかりと歩いています。子供によって使いやすい手足が違うのかも!?



##### お尻で器用に前進!?

おすわりの姿勢から、足や腕の力を使ってお尻を引きずるようにして移動していました。そういう子を「シャフリングベビー」「シャフラー」と呼ぶらしく、これもはいはいの一種だそう。それを聞いて安心しました。



##### 後ろにしか進めなくても…

はいはいの姿勢で、後ろ向きにしか進めなかった我が子。目標物に向かって前に進みたいのに、どうしてもバックしてしまってもどかしかったのですが…。いつの間にか前進するコツを習得していました!



##### 高ばいでダッシュ!

ひざを浮かせて、両手と足の裏を使って前に進む「高ばい」をしていました。あまりの勢いの良さに、今にも立ち上がるんじゃない!?とドキドキ…。この子にとってはそれが快適な移動スタイルだったんですね。

#### 注意POINT

はいはいや伝い歩きが始めると、行動範囲が一気に広がって事故が起こりやすくなります。引き出しにロックをかける、誤飲しそうな小さな部品や電池、小銭は子供の手の届かない場所に置く、キッチンやベランダのような危険な場所にはベビーゲートを設置するなど、安全面での工夫をお忘れなく。

家庭でできるアイデアたくさん!  
ぜひ見に来てね! ▶▶▶▶

親子コミひろしまネット

親子コミ



<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/oyakokomi/>



家族と一緒に学ぼう

乳児(0~2歳)シリーズ ⑪子供の世界の広がり編

# 「遊び」は「学び」



楽しそうに  
遊んでいるね!

僕たちはどんな  
サポートができるだろう?  
中を見てみよう!

遊び 学び 育つ ひろしまっ子! 🌱

広島県教育委員会乳幼児教育支援センター

次ページで  
ご紹介!

# 5 っの力を育む関わり方

子供にとって遊びや日々の生活の全てが学びです！

「遊び」や「生活」は子供にとって**探究の宝庫**。遊びや生活の中で、発見すること、体を動かすこと、創造すること、困難を乗り越えること、人と関わることを繰り返し経験することが、**主体的に学び続けること**につながります。寝返りやずり這い、お座り、はいはい、つかまり立ちなどをするようになる中で、子供の世界が広がり、意欲や好奇心も高まっていきます。子供が「動きたい」「動く楽しい」という気持ちを十分に感じられるよう、見守ったり、周囲の環境を整えたりしてみましょう。

乳幼児期に育みたい  
**5 っの力**

感じる・  
気付く力

うごく力

考える力

やりぬく力

人と  
かかわる力

0歳ごろ～



ゆらゆら  
動いているね

あおむけ

見て、触って、楽しむ

首がすわる頃になると身近な大人の姿や声をはじめ、身体の回りにあるもの全てに興味関心を向けて探ろうとします。子供が目を向けたら目を合わせたり、笑ったら笑い返したりしてみましょう。また、あおむけで楽しめる吊りおもちゃや自分で握って楽しめるおもちゃを用意して、子供が楽しんでいる様子を見守りながら、子供の興味に合わせた言葉がけをしてみましょう。

感じる・  
気付く力

うごく力

人と  
かかわる力

子供の発達には個人差が大きく、環境によっても異なります。子供の個性や発達のペースを大切に、温かく見守っていきましょう。

## 身体を動かす喜びを感じる

子供の「触ってみたい」「向こうに行きたい」という気持ちに「もう少しで届くね」「あそこに行きたいね」と言葉にするなどして、一緒に遊びを楽しみましょう。こうした子供の気持ちが、自分で「食べたい」「着替えたい」など、自分でやってみようという意欲につながり、基本的な生活習慣を身に付けるための土台となっていきます。

感じる・  
気付く力

うごく力

やりぬく力

人と  
かかわる力



寝返り

声や音など、興味をもった方向に顔を向けようとする。いろいろな向きから、声に抑揚をつけて話しかけたり、おもちゃを鳴らしたりして遊んでみましょう。

お座り

姿勢が安定すると、両手を自由に使って遊び始めます。両手で打ち合わせると音が鳴るなど、好奇心を刺激するおもちゃを用意してみましょう。



カチャ  
カチャ

## つかまり立ちで目線が高くなり、「自分でしたい」気持ちがさらに広がる時期

つかまり立ちをして同じ姿勢を保てるようになると、目線が高くなり、「自分でしたい」「やってみよう」という気持ちが高まります。身体を動かすことが楽しいという気持ちに寄り添って一緒に楽しみましょう。例えば、少し離れたところから大人が顔を出して「いないいないばあ」をしてみたり、箱車などを使って楽しみながら移動できるようにしてみましょう。

感じる・  
気付く力

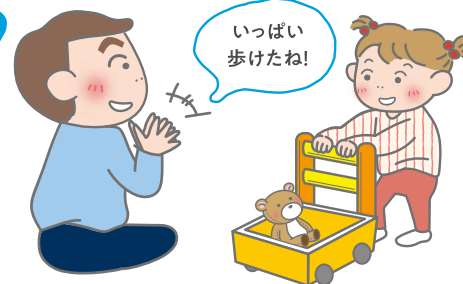
うごく力

考える力

やりぬく力

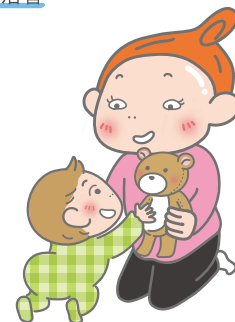
人と  
かかわる力

つかまり立ち  
伝い歩き



いっぱい  
歩けたね！

ここが  
ポイント！



ずり這い・はいはい

目の前でおもちゃを動かしたり、「おいで」と呼びかけたりして一緒に移動することを楽しみ、「手が届いて嬉しい」という気持ちに共感してみましょう。

## 「はいはい」しなくても大丈夫？

「はいはい」は子供の成長過程の一つですが、全ての子供がするわけではありません。ずり這いからつかまり立ちする子供もいるなど、発達には個人差があります。「自分で動く」過程は子供によって様々です。裏面で先輩パパ・ママの体験談をご紹介します。